

地域おこし協力隊

vol. 3

『^{やました}山下^{たつや}竜也』の活動日記

松阪市地域おこし協力隊に着任して約半年が経ちました。
最近では地域のイベント事の撮影や小学生に向けた写真講座などを行ったりしています。



写真講座では普段撮影に使用しているストロボやレフ板などを使って、光と影を意識した撮影について話しました。理科の実験のような感覚で光の見え方や光が照射されてできる影のつき方、光がレフ板に反射される様子をカメラのファインダーを覗きながら体験して頂きました。



難しい内容だったかもしれませんが、屋外に出て撮影した時に講座で教えた光と影を意識した撮影を子どもたちなりに考えながら撮影している姿が見えてとても嬉しかったです。また機会があれば、今度は大人の方にも参加してもらえそうな写真講座ができればいいなと考えています。



地域おこし協力隊

vol. 1

『^{くほ}久保^{ちはる}千晴』の活動日記（自己紹介編）

地域おこし協力隊に「6人目」の隊員が誕生！！

松阪茶があまりにも美味しすぎるので、生産地を見てみたいと思う気持ちで今年の2月から4月まで飯高地区にお試し移住をしてみました。住んでみると、お茶だけではなく沢山の魅力のある土地なんだ！と強く惹かれ、今年の10月から松阪市の地域おこし協力隊に着任させていただきました。お茶が大好きな四歳児の子育てに奔走中の久保千晴（41歳）です。

お仕事は各地でオリジナルのお土産やグッズ、ラインスタンプなどの販売を行っており、また最近、三重県の特産品を標品化するお仕事も始めました。

松阪市の地域おこし協力隊に着任させていただき、大好きな地域とこれから関わらせていただけることをとても嬉しく思っています。

まずはもっともこの地域の事を知りたいと思っていますので、飯高、飯南、嬉野、そして松阪市の事を皆さんに教えていただければ嬉しいです。これから三年間ぜひ宜しくお願いいたします！



松阪市地域おこし協力隊の



松阪市地域おこし協力隊の



※地域おこし協力隊・・・人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。